



# 議会だより

みんな一緒に

エイエイオー!!



9月22日 女川保育園運動会

9月定例議会	<b>“地方交付税が当初予算より増額”</b>	.....	2～3ページ
	決算審査特別委員会 Q & A	.....	4～5ページ
一般質問	1名登壇	.....	6～7ページ
	視察研修報告 石巻市の復旧復興状況について	.....	8～9ページ
	村民の声 「随感」	.....	10ページ

9月定例会は、9月13日～20日までの8日間の会期で開かれました。平成24年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算3件、村道路線の廃止が提案されました。また、今回は23年度の健全化判断比率及び資金不足比率の報告、閩川村各会計、水道事業会計の決算認定がありました。

審議の結果補正予算を含む全議案は、賛成多数にて原案のとおり可決しました。

# 地域の要望に応える補正予算へ!

## 道路、消雪パイプなどの工事を実施

歳入・歳出とも1億5400万円の増額です。歳入は地方交付税が交付されたものです。歳出は主に集落要望の道路、消雪パイプなどの工事で、当初予算で実施できなかった箇所を実施するものと、特別会計への繰出金を減額するために充当するものです。

一般会計補正予算は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億5400万円を追加し、総額を42億2750万円とします。

### 歳入

● 普通地方交付税の確定により1億7085万円増額。

● 財政調整基金繰入金と臨時財政対策費を合せて8879万円減額。

### 歳出

#### 総務費

● 自治体クラウドシステム導入に914万円計上。

※全額助成金からの支出になります。

● マイクロバスの購入費に1000万円計上。

※車両入れ替えにより、現在使用中のマイクロバス

は、廃棄される予定となります。

● 役場車庫の雨漏れによる屋根の改修に530万円計上。

#### 農林水産業費

● 国土調査の為に、航空写真撮影委託料として1449万円計上。

※村の負担率は1/4となります。

#### 商工労働費

● 観光施設等の整備費として2860万円計上。

※温泉施設の配管、スキー場の変電分岐設備、駐車場舗装工事などに支出されます。

#### 土木費

● 道路橋りょう維持・改良に5335万円計上。

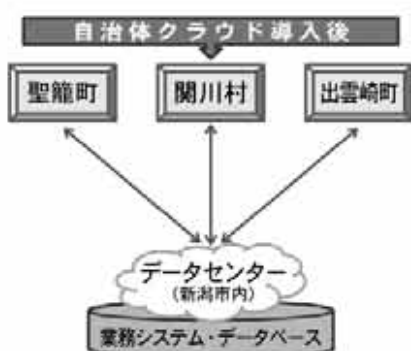
※優先順位の高い要望箇所から対応していきます。

## 自治体クラウドの導入について

複数の市町村が、情報システムを共同化・集約化を進めることにより、コストの削減、業務の軽減、セキュリティの強化につながります。

また、今回の導入目的には、災害時における、データの回復、システムの早い復旧に役立つと大いに期待できます。

閩川村、聖籠町、出雲崎町の三者で、県内最初の運用となります。



# 平成24年度 第5回 定例会

# 地方交付税が当初予算より増額



**平成23年度  
決算認定について**

一般会計・各特別会計及び公営事業会計は、決算審査特別委員会を設置し、各分科会へ付託。十分に審議された後、定例会最終日の本会議にてすべて承認されました。

これからも、堅実、確実な財政運営、財政力の向上を求め、各特別会計では、一般会計からの繰り入れに頼らず、独自の歳入確保に努めるよう求めてまいります。

**平成23年度**

**健全化判断比率及び  
資金不足比率の報告  
について**

地方自治体の破綻による社会的影響をさけるため制定されている「自治体財政健全化法(略称)」に基づき、監査委員から健全化判断比率と資金不足比率が意見が付けられて報告されました。報告された村の各比率は、財政再建の計画をたてなければならぬ一定の基準を超過しておらず、監査委員の意見も「特に改善すべき事項はない。」とのことでした。



地方公共団体の財政状況は、インターネットを利用すると見ることが出来ます。

### 検索方法

・総務省のホームページ↓  
統計情報↓地方財政状況調査関係資料。ここでは、全国の都道府県・市区町村の数値が公表されています。  
また、村のホームページ↓  
総務課↓閩川村の財政↓  
財政状況でも多くの財政情報公表されています。  
(但し、公表されるまでかなり時間を要します。)

**村道路線の  
廃止について**

路線名 女川郷7号線  
廃止後は森林組合の作業道路として使われます。

**採択された  
陳情・請願**

### 請願

・30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出を求める請願。

### 陳情

・地域温暖化対策に関する「地方財源確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択に関する陳情。

・「私立高校生が学費を心配せずに学べるように、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する陳情。

# 委員会 Q & A

委員長 平田 広

副委員長 須貝 謙一

## 第一分科会

総務厚生常任委員会

### 一般会計

#### 歳出

#### 総務費

**Q**、むらづくり総合推進事業補助費（キラリと光る地域活性化事業）で購入した備品を活用していない団体もあると聞くが。

**A**、成果の報告会を実施しています。今後実績報告の基準を見直す必要があります。

**Q**、村有地立木伐採だが、村施設内の桜の木を伐採し、各地域から批判の声があった。伐採事前に地元と十分協議したのか。

**A**、地元コミュニティで考えたが、会長から地元では結論が出ないとの返事があったため、村で判断して

伐採しました。

**Q**、テレビ難視聴地域対策事業費、金丸、ハツロテレビ電波利用負担金とは。

**A**、今までは有線でしたが、今度からは電波に変わった利用料です。

**Q**、スキー場対策基金は今後どうするのか。

**A**、これは撤去費用ということで積み立てています。今後考えていかなければならないと思っています。

#### 消防費

**Q**、集落単位で自主防災組織を作っている。集落でも限界になっているところもある。今後、コミュニティ単位で組織を立ち上げる考えはないか。

**A**、村内コミュニティ単位で防災訓練をやるとういう話が出ています。今後、地区コミュニティの考えを聞きたいと思います。防災組織の見直しの時期もき

ています。

**Q**、防災計画の見直しはあ

**A**、放射能の関係で防災計画の見直しが迫られています。

#### 教育費

**Q**、どくむ管理委託料は。

**A**、管理公社に施設管理委託料として支払っています。

**Q**、旧各小学校の管理状況は。

**A**、村全体で考えなければいけません。完璧に使用できるのは安角小学校。土沢・川北は耐震の心配があります。

**Q**、介護会計に毎年繰出金として支出している。介護保険料を上げるこ

とで来年度の繰出金が減額するのか。

**A**、減額はされません。介護保険福祉施設も多く減ることは無く、今年月平均7420万円、昨年より70万円増額になっています。



旧安角小学校



平成23年度

# 決算審査特別

## 第二分科会

産業建設常任委員会

### 一般会計

#### 歳出

##### 農林水産業費

- Q、耕作放棄地の活用は。
- A、国では耕作放棄地が広くあった場合は、太陽光発電として利用している例もあります。村の場合は猿害被害もあり、良い条件の場所がないため厳しいです。
- Q、松平畜産団地の汚水の水槽工事の場所は。
- A、畜産団地の施設内です。

##### 商工労働費

- Q、わかぶな高原スキー場への850万円の補助金は、スキー場が続く限り補助し続けるのか。

- A、補助金の額を契約しているのではなく、収支が改善していけば補助金も減らし、いずれは無くしていきたいと考えています。

##### 土木費

- Q、除雪の取り決めは。
- A、積雪10cm以上となった業者の判断で出動してもらっています。どの業者も守られています。
- Q、除雪の箇所は決まっているのか。
- A、除雪経費を極力抑えるため、村内何力所かは除雪していない箇所があります。
- Q、除雪している業者は。
- A、村内建設業者をお願いしています。

- Q、随意契約のルールは。
- A、選定理由項目により選定しています。



わかぶな高原スキー場

## 特別会計

### 支出

##### 宅地等造成

- Q、今後も宅地造成する計画は。
- A、現在の分譲価格より安く分乗できる土地を探しています。

##### 公共下水道

- Q、下水道の加入は。
- A、平成23年度は32件。今後はどれくらいあるかは分かりませんが、処理人口は若干減っています。
- Q、一般会計からの繰出金は永久に続くのか。
- A、起債償還が終わり、使用料で維持管理費が賄え、赤字になれば繰出金は減ります。

一般質問 平田ゆかり議員



登山道調査で発生した滑落死亡事故について  
村長の責任と今後の対応について問う

す。午前中に折り返し地点の小屋まで行き、午後からは往路を引き返すという計画が立てられていました。  
④13時：小屋で1時間半ほど休み、帰るために出発。  
14時頃：最後尾が男性が崖から転落し、呼んでも返事が無い。位置はわからないと報告。

**議員** 死亡したのは村内在住の男性で、合同で行われた村の登山道調査と国の湧水調査に同行した民間人である。村長は山の会長として死亡した男性を誘い、公的調査に同行したようだが、まことに軽率な判断と行動であったらうというよりほかない。村長は山の会会員の一人である前に、村長としての公人の立場を優先すべきで、担当部署の職員とともに公的調査に民間人を同行させるにあたってのその問題点を、十分に検討しなければならなかった。公的調査に民間人を同

行させ、重大な事故によって住民を混乱させた村と村長の責任は極めて重いと考えられる。また、村長の公私混同により職員の住民に対する安全管理の意識を麻痺・低下させたことは、職員が村長に意見できない組織体質であったのではないかと疑問視せざるを得ない。次の6点について伺う。

- ①調査目的と合同調査に至るまでの経緯。
- ②入山したメンバーの選考は誰がどのように行ったのか。特に民間人である住民が調査に同行した理由について詳しく伺いたい。
- ③ルートと日程。
- ④滑落死亡事故が発生した状況、その後の行動について。
- ⑤犠牲者と遺族に対する村の対応と責任。
- ⑥今後の対策。

です。私が参加した理由は、この道路、コース、設備などに関心を持っていたからで、立場としては同行者というものでした。  
②隊員10名の構成は、村の職員1名、これは任務です。国土交通省は羽越河川国道事務所長以下6名で、国交省側で選ばれました。民間人である住民は3名で、この中に私も含まれています。私以外の2名は、私に呼びかけられて参加した人たちで、私が属している関川村山の会の会員です。  
③ルートは、通常杖差岳西股川登山道、西股コースで

**村長** ①登山道とその施設・設備などの調査です。来年度の事業に取り込むための予算規模などから、調査の必要性が認められていました。羽越河川国道事務所長は、私がお会いする機会も多く、この際、登山行動を一緒にやってはという話になり、合同の話が出たもの

です。私が参加した理由は、この道路、コース、設備などに関心を持っていたからで、立場としては同行者というものでした。  
②隊員10名の構成は、村の職員1名、これは任務です。国土交通省は羽越河川国道事務所長以下6名で、国交省側で選ばれました。民間人である住民は3名で、この中に私も含まれています。私以外の2名は、私に呼びかけられて参加した人たちで、私が属している関川村山の会の会員です。  
③ルートは、通常杖差岳西股川登山道、西股コースで

14時20分：事故発生。第1報を下界に急報。2人を連絡員として下山。同時に状況の確認。即死状態になっている男性を発見。  
16時30分：直ちに第2報を託した連絡員を出発。内容は、死亡が確認されたこと、その安置場所、ヘリコプター発着可能な場所であること、現地に留まる隊員の氏名など。  
⑤正式な弔問は私が下山後に村長として、また関川村山の会の代表として2つの立場でご自宅に弔問しました。9月3日の告別式には、村としてもご霊前、花輪、

必要性が認められていました。羽越河川国道事務所長は、私がお会いする機会も多く、この際、登山行動を一緒にやってはという話になり、合同の話が出たもの

です。私が参加した理由は、この道路、コース、設備などに関心を持っていたからで、立場としては同行者というものでした。  
②隊員10名の構成は、村の職員1名、これは任務です。国土交通省は羽越河川国道事務所長以下6名で、国交省側で選ばれました。民間人である住民は3名で、この中に私も含まれています。私以外の2名は、私に呼びかけられて参加した人たちで、私が属している関川村山の会の会員です。  
③ルートは、通常杖差岳西股川登山道、西股コースで

弔意電報などをお届けしています。また、村の調査に参加していただき、ご指導いただいたという事で、現在、全国町村会総合賠償補償保険制度の事務局と連絡を取り合っています。

⑥事前にやっておくべき事がいろいろとあると感じており、マニュアル化していかなければならぬと思っています。このことは専門家のご指導をいただかなければいけませんし、対処しなければならぬと考えています。そういう手順が、ある意味で単純化し、その手続や決まりが簡単にできるようなものになりたいと考えています。

**議員** 村としての責任はそれだけでよいのか。村長に懲戒処分がふさわしいのではないかと考える。村長は、村民の奉仕者にふさわしい行動をする責務があるが、その職務を怠った。山の好

きな村長が、「ハイキングよろしく」と一緒にについていたのではないかというふうに思われるが、その時

担当者が、「村長それはおかしい」ということが出てこなかったのか。ほかの課長からも、「村長やめてくれ」ということは出てこなかったのか不思議でたまらない。山が好きだから一緒にいきたい、国の人も来るんだからと、いわゆる接待登山のような形になってしまった。これは村長に責任があると思うが。

**村長** 村長という立場の責任についても、これにかかわるいろいろな問題がある程度めどがついたら、また部内でいろいろと相談させていたいただきたいと思えます。村長が参加してはまずいという話はこの調査ではありませんでした。

**議員** 今回の村長の行動を、自らのように感じているか。

**村長** このような事故が村長の私が参加している中で起こってしまい、内外にこの報道がされてしまい、村のイメージに負の影響を与えたことを、誠に申しわけなく思っています。機会を見て村民をはじめ、関係の方々にご迷惑をおかけしたことをお詫びしたいと考えています。公の登山を含めた行事においては、参加態勢、あるいは村長としての立場というものを明確にして参加しなければならぬと反省しています。

**議員** 亡くなられた男性のご冥福を心からお祈りします。村長はじめ職員は、危険な作業に民間人の協力を求める場合、安全の議論を重ねてリスクに対しての処理、補償をしっかりと講じ

た上で慎重に対応していただきたい。村長自らの処分については返事を待ちたい。検討していただきたい。

注

死亡された男性の氏名は、伏せさせていただきます。文中では「男性」と記載)

# お詫びし反省をしたい マニュアル化を考えたい



答弁する 平田大六 村長



平成24年6月27日

総務厚生常任委員会  
産業建設常任委員会

# 修 報 告

## の復旧復興状況について

### 石巻市の概要

石巻市は、宮城県東部に位置し、県内第二の人口を擁する市です。広域合併により、市域は北上川下流の仙台平野から、女川町を除く三陸海岸南端一帯まで広がっています。

旧北上川河口に中心部を持ち、石巻都市圏の人口は約14万9000人余りです。今回の大震災により、死者3236人、行方不明者493人、住宅全壊2万8000棟、避難者9692人（避難施設数108）と被害は甚大でした。

### 視察の概要

石巻観光ボランティア協会会長・斎藤敏子氏のガイドで石巻市内を車窓より視察しました。（約2時間）

石巻駅前を出発、中心街はかなりの復旧が見られましたが、郊外に出ると未だ分別されていない「がれき

の山」が、各所で見られ、ガス抜きのパイプが煙突のように見えました。

がれきの量は380万トン、通年の50年分以上の膨大な量だと言っていました。また、津波で被害のあった車等が山のように積み重ねられていて異様な光景でした。

石巻漁港臨港道路には、

数百メートル先から流されてきた巨大な油タンクが置き去りになっていました。

石巻港は、工業・物資の拠点となる臨海型工業港であり、石巻市の製造業就業人口の3分の1の雇用を支え、地域経済の中核を担っています。

しかし、岩壁・港湾施設の甚大な被害で、生産機能

や物流機能が停滞していました。（魚市場屋根の長さ652メートル、日本一の水産加工団地が全壊）

門脇町では、工場のタンクや木材が流出し、次々と火災が発生して被害を拡大させました。

門脇小学校は津波と火災の延焼によって全校火の海となり黒い校舎の残骸が残っていました。（児童数176名、学校に残っていた児童は、裏山に避難して無事でしたが、帰宅した児童の中には津波の犠牲になった児童もいたそうです。）

昨年の紅白歌合戦で暗闇の門脇小学校校庭から、歌手の長瀬剛さんが全国に歌声を届けました。

最後に「日和山公園」から、壊滅的被害を受けた石巻市の南浜町、門脇町、海岸部から日和山のすぐ下まで、「がれき」撤去されていたが住宅の土台や鉄骨の残骸が残るのみで、街並みがあったとは思えない光景でした。



日向山公園から遠望



# 視 察 研

## 宮城県石巻市

# 東日本大震災で被災した現地

### まとめ

一瞬にして街が消えてしまふ津波の威力に驚かされました。

道路は復旧されていますが、住宅や各施設は手付かずの状態でした。

小学校9校、中学校4校が間借りをしているそうです。

膨大な量の「がれき」の処分が、焼却・埋立にしろ今後の大きな課題となることでしょう。

本村においても、東日本大震災を教訓に、地震、台風、豪雨等に対する防災教育・防災管理の大切さを強く感じてきました。



門脇小学校



油タンク



がれきの山



車の残がい

# 村民の声

## 「随感」

たか 高 橋 一 裕 さん  
(土 沢)



先日「12分の11」という発想に出会いました。それは海に浮く「冰山」からの発想でした。冰山は水面の上に突き出している部分が全体の極一部で、ほとんどの部分が水面の下に潜っています。この「12分の11」というのは、目に見えない水面下にある氷山の大きさの割合であります。ものの例えに「冰山の一角」という言葉がありますが、この意味するところは「物事は見える部分に心を奪われていると、その本質を見失う。目に見えないところにこそ、物事の本質は隠されている」ということを示唆しています。

「一角」に心を奪われ、物事の本質を見失い、形あるモノにしか価値を見いだせずにいます。特に結果オーライの社会で、数学の問題に例えれば、答えだけが最も重要で、その答えを得るに至った過程が評価の対象にまったくならない社会であります。しかし、そこに到達するまでの考え方、努力、試行錯誤がある意味では、答えを得るよりも大切であるということを受け止めてほしいと思います。

そう考えてみますと、人間関係にも同じことが言えるのではないのでしょうか。見えないところにその人の本当の能力や、大きな人間性が隠されているということですね。目の前の事だけに捉われることなく、広い視点で考え、行動し、社会に貢献できる人材が増えることを願っています。

しかし現在の社会は「冰山の

え、行動し、社会に貢献できる人材が増えること

### 編集後記

を願っています。

そして我田引水的社会風潮の中、自然と人は勿論、人と人との共生をも深く考え、男女がともにワーク・ライフ・バランスを実現できる環境を整えることが、これからの超高齢化社会を乗り切る原動力となると思っています。

ス（仕事と生活の調和）

■元気に駆けまわる園児たち。その可愛らしい笑顔と歓声に目を細める地域の皆さん。女川保育園の運動会で、受け継がれる命の尊さと地域の絆を感じた。■この夏、村で催された婚活パーティーで8組のカップルが誕生した。男性は村内、女性は村外在住。前向きに結婚を望む若者たちが、チャンスをつかんだ。■結婚は人生の大仕事。出会い、交際、結婚と進めば、後の生活の不安がつのる。子育てにおいては尚更だ。■村は、次世代に期待し支援力を入れていける。この村で家庭を築けば、親戚の多さ、地域の人たちとの繋がりに安心を感じられる。■あの日の運動会の光景は、私たち村民のルーツと言っていいたろう。後世に残したい。

平田（ゆ）

### 議会広報対策特別委員会

- |      |    |    |     |
|------|----|----|-----|
| 委員長  | 平菅 | 田原 | ゆかり |
| 副委員長 | 津渡 | 野辺 | 修衛  |
| 委員   | 古佐 | 川藤 | 庄秀  |
| 委員   |    |    | 芳友  |
| 委員   |    |    |     |
| 委員   |    |    |     |